

平成31年度入試の主な変更点

1. インターネット出願の導入について

群馬大学では、志願者の利便性向上及び入試業務の効率化を図るため、平成31(2019)年度入学者選抜(平成30(2018)年度実施)から、一般入試(前期日程・後期日程)に加え、特別入試でもインターネット出願を導入します。これに伴い、紙の学生募集要項は廃止となります。

インターネット出願の導入により、学生募集要項の取り寄せが不要となり、出願期間中は24時間いつでも出願登録ができます。

2. 高大接続ポータルサイト「JAPAN e-Portfolio」について

群馬大学では、文部科学省入学者選抜改革推進委託事業(主体性等分野)に参画し、多面的・総合的評価の実現を目指しています。平成31(2019)年度入学者選抜(平成30(2018)年度実施)から、推薦入試の提出書類である「活動歴を証明する書類」について、高大接続ポータルサイト「JAPAN e-Portfolio」の「学びのデータ」を利用することが可能となります。

なお、「活動歴を証明する書類」の提出にあたっては、「JAPAN e-Portfolio」の「学びのデータ」を印刷して提出する場合でも、「JAPAN e-Portfolio」を利用せずに提出する場合でも、平等に取り扱います。提出いただいたデータ及び書類は、入学者選抜に係るデータとして活用させていただきます。

高大接続ポータルサイト「Japan e-Portfolio」

<https://jep.jp/>

※「JAPAN e-Portfolio」は、株式会社ベネッセコーポレーションへの委託により、同社のID管理システムを利用し、サービスの提供を行っています。

※ご利用には、SASSIから始まるログインIDとパスワードが必要です。

※ご利用IDをお持ちでない場合は、学校の先生にお問い合わせください。

※ログインIDやパスワードのお取り扱いには、十分にご注意ください。

3. 特別枠について

群馬大学では、社会情報学部及び理工学部の2学部において、グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラムを入学時から取り組める体制を構築することを目的に、平成31年度推薦入試より「GFL 特別枠」を導入します。

また、あわせて、社会情報学部では独自の取組として、「データ解析特別枠」を導入します。

この2つの特別枠での合格者は、本学の「卓越学生に対する授業料免除制度」の優先的適用の対象者となるとともに、GFLでは1年次前期からGFLコースに所属して、短期海外研修へ参加することになり、データ解析プログラムでは1年次前期からデータ解析プログラムの活動に参加することになります。

—— グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラムについて ——

群馬大学では、本学の学生が「自国及び他国の文化・歴史・伝統を理解し、外国語によるコミュニケーション能力を持ち、国内外において主体的に活動できる人」となるよう、グローバルフロンティアリーダーの育成に力を入れています。その一環として、グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラムを設置し、教育学部と社会情報学部が連携した「教育・社情グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コース」、及び医学部と理工学部が連携した「医理工グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成コース」の2コースにより、日本語能力・国際理解を含む幅広い教養・外国語コミュニケーション能力の修得を中心とした教育を行うとともに、海外留学の経験を通して広い視野を持つ学生を育てます。

グローバルフロンティアリーダー（GFL）育成プログラムに所属するメリット

- (1) GFL生限定の留学プログラム
- (2) 留学費用の補助として返済不要の奨励金支給（対象留学プログラムに参加した場合）
- (3) 外国人教員による英語学習特別プログラム
- (4) 語学試験の受験対策ソフト無料受講
- (5) インターネット環境・パソコン・各種教材を備えたGFL室の利用
- (6) 3年次終了時に大学院に進学できる早期卒業・飛び推薦制度
(理工学部 化学・生物化学科において実施)

—— データ解析プログラムについて ——

群馬大学社会情報学部では、高度な情報にあふれる現代社会で活躍できる、データ解析能力を持つ人材の育成に力を入れています。データ解析プログラムでは、1年次から3年次までを主な活動期間として、データ解析によって社会の問題解決に貢献できる人材を養成します。3年次にはデータ解析技術を活用し、社会的問題に取り組む問題解決型学習（Project-Based Learning：PBL）を行います。